

## 2023 年度事業報告書

2023 年 6 月 1 日から 2024 年 5 月 31 日まで

特定非営利活動法人教員サポート Smile ういんず

### 1 事業の成果

#### (1) サポート事業～活動費を確保し、学校や個々の教員の困り感に対応するサポート事業～

新型コロナウイルス感染症が 2023 年 5 月から 5 類に移行になり、学校内に感染症による学級閉鎖が発生していてもサポートを行うこととした。依然として多忙化と人手不足の困難を抱える学校現場からの依頼はますます増加し、これまでの最高数となった。

**学校サポート事業**では、クラスサポート(延べ90校257コマ)と担当不在サポート(延べ182校405コマ)合わせて延べ272校をサポートした。実数で見ても市内の小学校のおよそ7割が Smile ういんずのサポートを利用した。

クラスサポートはサポーターの口座に直接謝金が振り込まれる形に変わり、一昨年度並みの予算に戻ったとはいえ7月から11月の4か月で終了した。開始前も終了後も学校からの問い合わせがあり、現場のニーズがとても高いことが伺えた。担当不在サポートは、昨年度のコロナによるキャンセル分を今年度に回し、テーマ型募金を財源にして計画的にコマ数を管理した。最高数だった昨年をさらに上回る依頼に応える実績だった。学校や教員の家族から病气や介護のケアが遠慮なくできたことへの感謝や、誠意ある対応・行き届いた支援にお礼の言葉が寄せられた。

活動費を確保するために市教委と話し合いを続けたり、テーマ型募金の募金袋を作成したり再度のお願いを郵送したりして活動資金の確保に努めた。さらに花苗の内部バザーや外部のフリーマーケットに参加して資金を増やす努力をした。賛助会員が一層寄付しやすくなるように認定NPO法人を目指して書類を作成したが、時期が適切でないと考え、延期した。

**ねこの手サポート事業**(有料)については教育団体にも働きかけたが、依頼は増えなかった。しかし、中学校や地域団体からの依頼や問い合わせもあり、困ったときに支援する団体として認知されてきている。

#### (2) サポーターと研修～サポーターの安全とやりがいに配慮～

クラスサポートの支払い方法が変わったが市教委との調整もうまくいき、サポーターが納得して手続きを進めてくれた。感染症による学級閉鎖中もサポートに入ったが特に問題なくサポートできた。ただ、例年になくサポーターの健康上の理由によるこちらからのキャンセルがあり、感染症への予防対策は予断を許さない状況だった。骨折の怪我也1件あり、健康や安全面への注意は怠りなくやりたい。業務報告書の内容や連絡会等での生の会員の声を良く聞き、学校に改善を働き掛けたり、情報共有したりした。サポートに役立つ研修としてタブレット研修パート2を実施した。サポート時に指示や学習の意味がよくわかり、児童の質問にも答えることができたことと好評だった。

#### (3) 事務局の運営～人とシステムが円滑に動くメリハリある事務局運営～

学校からの依頼増で事務局の仕事量が増加した上に途中で欠員があり、オーバーワークになりがちだったが、3月に1人増員し、再び6人となった。それが仕事の軽重や役割分担を考え直すきっかけとなり、より円滑に無駄なく仕事が進んだ。柔軟に時期や内容を交代するなど互いに助け合いながら仕事が進んだ。忙しい学校は受付時間を明示しても時間外や急な依頼が後を絶たないが、無理をせずに対応できる依頼に対応した。駐車場代がかさむため会

議は状況を考えて場所を選んで運営した。SNS（LINE 等）の活用、事務局外部の専門家への相談、繁忙期には事務局外の会員からも事務補助をお願いし、多くの力を借りて事務局運営をすることができた。

#### （４）広報と情報交換～サポーターと学校との関係性を活かし、応援する人を増やす広報～

地道にサポートを続けるサポーターは学校に信頼され、急なサポート依頼にもやり繰りして応えたり年度を超えてサポートした経験を児童見守りに生かしたりしている。Smile ういんずの信頼性を高め、広報に役立っている。

外部とやり取りしたり広報したりする機会も戻りつつある。県内外の高校生から訪問や問い合わせを受けたし、県外から２件の視察もあった。福祉業種異業種セミナーや市民活動団体との交流会に参加した。機会をとらえて積極的に当法人の活動を広報し、情報交換したことで Facebook やホームページの閲覧も増えているようだ。以前ご縁のあった全国の皆さんとも細く連携を保ち、地震のお見舞いや起業のお知らせなども届いた。市内北区でその校区限定の学校支援アシスタント（通称濁小 Smile ういんず）も誕生した。変化する学校や社会に適応できるように市教委との密接な連絡を心掛けた。

学校現場の人手不足に呼応して講師照会の問い合わせも 22 件あった。そのうち 8 件（10 件対応できたが 2 件取り消し）に応えることができた。

## 2 事業の実施に関する事項

### （1）特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
退職教職員の 実働を提供して小・中学校をサポートする事業 (学校サポート事業)	・学校の依頼を受けて担任等の不在時に学習等のサポートをする。 (担当不在サポート)	・2023年 6月～ 2024年5 月	・新潟市内 全区の小学 校・東西特 別支援学校	39人	・サポート に入った 学校の児 童・教職 員(182 校)	405 コマ 1092.4 千円
	・市教育委員会の委託を受けて特別な配慮の必要な子どもを含むクラスのサポートをする。 (クラスサポート)	・2023年 7月～ 2023年 11月	・新潟市内 全区の小学 校	34人	・サポート に入った 小学校の 児童・教 職員(90 校)	257 コマ 1831.8 千円

個人の教職員 や教育団体の 繁忙期をサポートする事業 (ねこの手サ ポート事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校等の依頼を受けて事務作業に特化したサポートをする。(事務作業サポート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年6月～2024年5月</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市内の小中学校</li> <li>教育関係団体</li> </ul>	16人	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポートに入った学校や団体の職員(7校)</li> </ul>	40.8 千円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育団体及び子育て団体の運営などをサポートする。(運営サポート)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>相談して決定した場所</li> </ul>	14人	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポートした教育団体(8件)</li> <li>個人(0件)</li> </ul>	61.9 千円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人の教職員・子育て支援者の教材作りや事務仕事等をサポートする。(個人サポート)</li> </ul>					
学校現場や教職員に役立つセミナー・イベントを行う事業	なし					